倉田地区　地域づくり懇談会　　議事録

１　日　時　平成２６年７月１日（火）　１９：００～２０：１５
２　会　場　倉田地区公民館
３　出席者　地元出席者　　５７名
市側出席者　　１２名
深澤市長、羽場副市長、河井教育委員会事務局長、田中企画推進部長、藤井都市整備部長、下田健康・子育て推進局長、谷村農林水産部次長、高橋秘書課長
＜事務局＞馬場協働推進課長（司会）、岡本協働推進課課長補佐、酒本協働推進課主任、田中協働推進課主事

４　地域でのまちづくりの取組状況および地域の重要課題についての報告

（倉田地区公民館長）※スクリーンに基づき説明

倉田地区は長い自治会の活動をもとに、まちづくり協議会とイコールで活動を進めています。まちづくり協議会では、総務部、福祉部、保安部、同協部、体育部、公民館部の６つの部が一体となって倉田地区のまちづくりに当たっています。本日は、まちづくり協議会の開催する全ての事業に関わっているという意味で、特に総務部の内容を中心にご説明をさせていただきます。安全安心な町、倉田。住みよい町、倉田。将来子どもたちが倉田に帰ってきて住みたいと思えるような町、倉田。こういうことを目指して、地区としていろいろな課題を要望しています。すぐにできる内容は限られますしなかなか難しい問題もありますが、長年かかって克服して解決していただいています。本日は、倉田地区としてどういう内容を行政にお願いをしているかということを皆さんと情報共有して、この倉田の町を良くすることに向かって一致団結していきたいと思っています。

まず、バードスタジアム活用のための周辺の整備について。残念ながら今年はガイナーレがＪ３に落ちまして観客が少し減っているという残念な報告もありますが、ここでガイナーレの試合があるときには非常に多くの方がお見えになります。車でお見えになるので、どこに車を停めればいいのか、河川敷に停めてバスで来るのか、また地元側もたくさんの人に来てほしいが車があちこちに不法駐車されるのも困るということがあり、バードスタジアム周辺にもっと大きな駐車場の確保が必要と考えています。一方で、今問題になっている鳥取市の体育館、これも老朽化が進んで建て替えなければいけないという話も漏れ伺っています。プールやテニスコート等々このあたりがより一層発展するようにバードスタジアムを中心にスポーツ公園化を図る、あわせて駐車場も整備していただけるように、と長年にわたって要望し続けています。

次です。これは一番急いでほしいことです。南人権センターからずっと来て倉田小学校のバックネット方面に道路が上がっていくわけですが、このカーブのところが道幅が狭いと同時にガードレールがありません。このガードレールがない部分の下は、子どもたちの遊び場になっています。まだ大きな事故はありませんが、早く整備していただきたい、道路の幅も広げてほしい。朝晩の通勤のため交通量が多いので、ぜひ早期にガードレールを

設置していただきたいというのが要望です。

次に、千代川の河川敷の景観保全と農地等の災害対策についてです。この河川敷に水田が５町歩あります。この水田が、大雨や台風の際に水没する、土砂が埋まる等々の被害が繰り返されているということで、根本的な解決に向けて長年検討いただいていますが、なかなか難しい問題もあって進んでいないようです。特に災害復旧時の資金的な支援だとか、あるいは３号地の用地取得を国交省のほうに働きかけていただきたいと思います。

次に、千代川架橋早期事業化について、これは毎回地域づくり懇談会でも要望を出していますが、県道鳥取地区営農団地農道、八坂から竹生までの間、３５０ｍに橋をかけていただきたい。そうすれば、鹿野から一直線で倉田にもつながるということで、合併により新しく鳥取市に加えられた新市域の方々も非常に便利よく道路や橋を活用できるのではないか、鳥取市の発展に大きく寄与するのではないかということで要望を出しています。

次は、主要道路の拡幅整備についてお願いしています。間もなく源太橋の改修が終わります。９月２６日の正午に源太橋が開通するという報告もいただいています。１点目は、源太橋から西円通寺まで国道５３号線の４車線化を早期に実現していただけるようお願いしています。２点目は、倉田のバードスタジアムのところの交差点から源太橋方面に向けて拡幅を今現在お願いしています。一部工事には入っていただいていますが、今農繁期といいますか、農業の関係でちょっと工事が止まっています。まだまだ全線というわけにはならないので、早くやってほしいというお願いです。

それから、バードスタジアム側から倉田保育園までの県道です。バードスタジアムまでは広い歩道や車道もありますが、バードスタジアムから保育園までのところは非常に狭いのでここの拡幅をということで、既に何回か地元の地権者の皆さんにも相談され、地権者からは同意をいただいています。これを早く実現していただきたいということです。公民館側から向こうのバードスタジアムを見ると、本当に狭い。子どもたちがここを通学に使っています。

次は、八坂山の急傾斜地の防災についてです。大雨が降った場合にそこに住まわれている方は非常に危険であるということで、俗に言うレッドゾーン、イエローゾーンというところをできるだけ早く改善してほしい、対策してほしいと要望しています。先日、６月２５日に県の関係者の方、市の関係者の方、また地元の区長さん初め代表の方に現地を確認していただきました。橋本では、山側から民家に土砂が落ちてくることを防止する防護柵がもうほとんど完成しています。傾斜がなだらかだということで対象から外れてついていない部分もあります。また、橋本から八坂に抜ける途中に小屋があって、これも急傾斜地のところですが、大雨が降ると小屋の下の用水路がすぐに埋まってしまうということで、この辺のところも何とか早く解決していただきたい。同じく八坂で待居（マチイ）というところ、待居の樋門から下流側を見たところに民家があります。ここには山白川が流れていますのですぐには大きなことにはならないと思いますが、山がせり出しているため見るからに危険だなと思われる所です。また、下円通寺では山土居（ヤマドイ）に山に囲まれた民家がありますが、大雨のときは心配で夜なかなか床につけないと訴えられるのを私も直接聞いたことがあります。上円通寺も同様に金網で対策はとってありますが、それを乗り越えるだけの樹木が上から覆いかぶさって民家の方にきています。防護柵ができていますが民家がすぐある。倉田はこういう山に囲まれたところに集落が点在していますので、

何ヵ所かこのようにレッドゾーン、イエローゾーンと言われる危険な地域があるということで現地確認をしています。

最後に、倉田地区は鳥取駅から約６ｋｍ、７ｋｍのところにあります。鳥取道が開通して西円通寺ではたくさんの方が鳥取南バイパスを利用して鳥取を訪問されたり、あるいは鳥取から京阪神方面に出られるという地域でありまして、何とか早くこの南部地域をもっともっといろんな面で発展させていただくようなまちづくりをお願いしたい。今のところ買い物といえば、イオン鳥取北店とかカインズホームということで、とにかく町のほうに向かって出ていかなければいけません。何とか駅の南側に、倉田寄りにいろんな便利な施設を設けていただけたらと思います。鳥取市全体のまちづくりの構想の中で、倉田地区も忘れられずにそういった仲間に入って、ますますここがよくなる形に持っていっていただきたいという思いです。鳥取駅南部地域の都市計画についてということで、漠然とした内容ですが、そういった要望もさせていただいています。

以上ですが、今申し上げたのは、いろんな要望の中のごく一部です。我々地域の住民が一緒になって情報を共有したいということで、改めて説明させていただきました。

（地区会長）

補足です。平成１６年１１月に合併したわけですが、倉田地域は鳥取市南部の中心だと思います。前回の地域づくり懇談会の時には、５３号線と２９号線の叶バイパスができる段階で､あの周辺の鳥取市のいろんな施策を考えようではないかとおっしゃっていました。現在は叶の周辺にたくさんの医療施設が固まっていますが､一番ネックになっているのは、叶から東側の工業団地､工業専用区域です｡地域づくりを何かやれという話がありますが、地区計画というものは地域が簡単にできるものではないので、行政側から提案をしていただきたい、それが今どうなっているのか尋ねたいわけです。倉田地区は、田んぼがあり千代川があり山白川があります。一方で、バードスタジアム、倉田スポーツ広場、霊場や墓地があり、年間約２８万人の倉田地区外の方が出入りしています。ついては、道路アクセス、ハード面の改善も当然ですが、それに付随する環境面についても総合的にお考えをいただきたいと思います。

特に都市計画の問題については、新しい源太橋、馬場、それから米里までの県道が改修されてきています。周辺のことを含めた、これからの考え方をまとめていただきたい。

もう１点、西円通寺には鳥取南バイパスの降り口ができ道路が広がりました。ところが国交省は駅の南側の５３号線に入ってくる車が半減したと言います。ということは、駅の南側にそういう施策がないということです。ですから倉田も含めて施策を考えていただきたいというのが願いです。

５　地域の課題についての市長等との意見交換

１　バードスタジアム活用のための周辺の整備について

バードスタジアムを本拠地とするガイナーレ鳥取の活動など、利用が活発になっており、また一層の利用者の増加のためには周辺の整備が必要と思われる。

例えば、鳥取市民体育館老巧化に伴う新築移転、市民プール・テニスコート等を整備され運動公園化を計画して頂きたい。駐車場の整備についても同様にお願いしたい。

＜担当部局の所見等＞

【教育委員会】

スタジアム周辺の公園化について、本市は、布勢に県立総合運動公園を有していること等もあり、今後、新たに運動公園を整備する計画はありません。

また、駐車場の整備については、ガイナーレ鳥取の観客動員増加に向けた取り組みとして、無料シャトルバス運行支援や駅周辺民間駐車場のサービス券交付など利便性向上を図るとともに、スタジアム周辺の交通混雑の回避や中心市街地の経済効果向上を図っているところであり、その成果とガイナーレ鳥取のＪ２復帰など今後の観客動員の状況を今しばらく、見極めながら必要性を検討していきたいと考えています。

（教育委員会事務局長）

バードスタジアムができて約２０年近く経ちました。倉田地区の皆様のご理解とご協力により、こういう整備ができたと考えておりますし、大きな大会、イベント、試合の際には地元の交通対策という部分で深いご理解をいただきながらバードスタジアムの運営ができていると思っています。

運動公園化についてですが、本市には布勢に県立の総合運動公園が存在するということもあり、現在のところ新たな総合運動公園の整備計画はしていません。また現在、鳥取市全体の公共施設の更新問題に取り組んでいます。市内の公共施設の多くが３０年以上経過して老朽化しており、更新の時期が迫っています。少子高齢化や財政状況も考えながら、公共施設の総量というのも今後考えていきたいと思っています。

駐車場については、現在約１００台の常設の駐車場があります。大きな大会やガイナーレの試合についてはサブグラウンドを開放すれば約１５０台分のスペースがあります。また、たくさんの方に来ていただくためと地元の皆様の交通渋滞に対する対策を含めて、鳥取駅周辺の無料駐車場の提供、また臨時駐車場として倉田スポーツ広場とグッドヒル本社の駐車場をそれぞれ約４００台分確保させていただき、駐車場からは無料のシャトルバスを運行しています。現在は、バードスタジアム周辺の交通混雑を回避させ、なおかつ中心市街地の経済効果の向上を図っているところです。その成果と今後の観客動員の状況を見きわめながら、必要性を検討していきたいと考えています。

ちなみに現在の観客動員数ですが、昨年はＪ２の試合が２１試合ありまして、平均観客動員数は４，０９７人でした。今年はＪ３となり試合数も減っていますし、一部米子のＹＡＪＩＮスタジアムで開催していますので、実質バードスタジアムでの試合数は、年間１３試合です。現在まで７試合消化しており、入場観客数は、平均２，５３０人となっています。

２　倉田保育園前～倉田小学校間の市道の早期改良について

※小学校周辺のガードレールの設置は特に急いでお願いする。

※県道八坂鳥取停車場線については、拡幅する動きがある。この県道に続く上記の市道は、車の交通量も多いため、県道拡幅とあわせて拡幅を実施してほしい。

＜担当部局の所見等＞

【都市整備部】

倉田保育園前から倉田小学校間の市道拡幅は、小学校前に車を誘導することとなり、かえって危険が増大し、子どもたちの安全が脅かされることになります。交通管理者である警察と協議をしながら、県道へ誘導し、市道へ車を進入させない路面標示などを実施していきたいと考えています。

路面標示として…幅員減少表示、速度抑制標示、車道幅員内に波線をいれ幅員を狭く見せる方法、イメージハンプなど

【教育委員会】

通学路等の子どもの危険箇所防止に関しては、交通安全一斉点検で行っております。この点検は道路管理者（国・県・市）、警察、学校、ＰＴＡ（必要に応じて地元住民）等が一斉に集い、ハードのみならずソフト対策も同時に考えるようになっております。

ガードレールの設置については、Ｈ２６．６．４付けで倉田小学校から、通学路における危険個所として報告を受けており、各管理者と相談しながら改善方法を考えていきたいと思います。また合同点検の日程は７～９月に実施する予定ですので、ご協力のほどよろしくお願いします。

（都市整備部長）

国道と県道の交差点での信号機の待ち時間を避けるために、市道に進む車が多くなっています。この状況で市道を拡幅しますと、さらに小学校前に車を誘導することになりますので、かえって危険が増大して子どもたちの安全が脅かされることが考えられます。本市としては、交通管理者である警察と協議をしながら県道に誘導し、できるだけ市道へ車を進入させない路面表示、例えば「ゾーン３０」という速度３０ｋｍ規制などにより、より子どもたちへの安全対策を実施していきたいと考えています。

（教育委員会事務局長）

現在は、ＰＴＡや地域の方の意見も聞きながら、通学路について点検が必要な箇所を、毎年学校からご報告いただいています。報告をいただいた後は、道路管理者なり警察なり教育委員会、関係者が集まり点検を行っています。ご質問の件については、本年６月４日付で倉田小学校から報告をいただいていますので、今後、道路管理者とも相談しながら改善方法を検討したいと考えています。教育委員会、道路管理者、警察、学校、ＰＴＡ、そして時によっては地域の方にもお声かけをして方法を相談したり、現場で確認をさせていただきながら対応を検討したい考えです。

６　市政の課題についての意見交換（フリートーク）

（地元意見）

県道と市道の接合部分の除雪についてです。道路の地図で赤い線と緑のところです。これは道路行政の谷間になっているのではないかと思います。聞きますとそこは市道らしいですね。そして、それ以外のところは県道。年に何回もあるわけではないですが、雪が降ったとき除雪がなかなかなされません。我々からするとなるべく早く除雪してほしいと思います。県道はずっと続いているので除雪されますが、市道は一部分のためにわざわざ除雪に来るというと大変だと思いますから、県に除雪を依頼して後で市が県にお金を支払うというシステムはないのですか。お金のやりとりのシステムがあるかどうかも不明ですが、それはでも協議のことですから積算的なものをある程度構築していただきたい。

さらに、倉田地区だけではなく危険防止の谷間になっている他の地区もあるだろうと思います。ぜひそのあたりは広域的に考えていただきたいと思います。

（深澤市長）

これは従来より、特に交差点等を効率的に除雪ができるようにということで県と一緒になってやっているところです。その辺で実態として県道の除雪より遅れているのではないかというご指摘をいただきましたので、改めまして確認をさせていただきたいと思います。先般、県と連携していろんな取り組みをやろうということを話し合ったところです。知事さんとも一緒になってやろうということを話し合ったところですので、こういった除雪を

始め、県と市が一緒になっていろんなことを効果的にやっていきたいと思います。

＜補足：道路課対応方針＞
懇談会後に、改めて鳥取県土整備局に交換除雪ができないか打診したところ、本年度検討したいと回答を頂きました。

（地元意見）
道路がだんだん良くなってくるというのは非常にありがたいことですが、入ってくる車は私が横断歩道を渡ろうと待っていても、ほとんど停まってくれません。もう渡ろうという姿を見せても、どんどん行きます。何台車が来ても停まってくれません。だから、車が行くまで待ってそれから動きます。倉庫にトラクターを入れようとバックしていても、通れるなと思ったらどんどん進みます。ぶつけられたらどうするのかと思います。高速道路が近くにあるのでそのままの勢いで入ってくるのではないかなと思います。車も急ぐこともあるかと思いますが、そこら辺はモラルの問題になると思いますので、どのように考えておられるかお聞かせ願えたらありがたいと思います。

（深澤市長）
交通ルールを遵守する、守っていただくというのはなかなか難しい面もありますが、さまざまな交通安全運動等や啓発活動を警察署と一緒になって行っているところです。まだまだ十分ではありませんが､交通安全ルールを守って交通安全に努めていただくためには、啓発活動等を引き続きやっていかなければなかなか改めていただけないと思います。鳥取市としても、今後もしっかり取り組んでいきたいと思います。

（地元意見）
倉田体育館の裏から小学校の校庭につながる信号があります。私は毎朝通っているのですが、ここに子どもたちが結構集まるのです。信号のところにガードレールも何もないために、１２、３人集まったときにちょっと危ないなと思いつつ朝晩見ています。ここは様子見のときに１回確認してみてください。保護者の方と一緒に来られるのですが、朝見ていると、ちょっと危ないかなという時もあります。特に低学年の子どもたちが集まっていますから。

（教育委員会事務局長）
現地に出て確認することがありますので、その前に学校の校長先生方に確認をさせていただきながらあわせて一緒に見るようにします。

（地元意見）
倉田保育園のことについて１点お願いします。私の子どもたちは今の保育園の場所に３人ほど通わせていただきました。ただ、今の保育園児の規模にすると少し手狭になったのかなと思います。多分２４年度の地域づくり懇談会の時にもお願いさせていただいたと思いますが、拡張とか建て替えとか増設等については、どういう状況になっているかお聞き

したいと思います。

（健康・子育て推進局長）

ここは便利がいいということで、合併してからは確かに子どもの入園は増えていました。平成２３年度が９５人、２４年度が９１人、２５年度が７８人で、２６年度が６８人と。定員が８０名ですから、最近は若干減ってきています。前回の地域づくり懇談会の時に増築要望の話を伺いまして、必要かどうかということを検討しました。当時は子どもが多かったため、遊戯室を保育室に利用していたことがありましたが、現在はそれが解消されて保育室はきちっと確保できているということです。また、前回の地域づくり懇談会の時に、大人用のトイレが不足しているというお話も伺いましたので、１か所増設しています。改築については耐震改修の結果が「ＮＧ」でしたので、本市としてはこの結果を踏まえて、鳥取市全体の公共施設耐震化促進計画の中で今後の整備方針を検討していきたいと考えています。

（地元意見）

因幡霊場に至る進入道路の管理の関係についてお願いです。道路管理については年に何回と決めて市の方で管理されていると思いますが、この道路については人生終えんの道路でもあるということで、通常の道路管理とは違ったもう少し手入れの回数を増やすとか、もう少し明るくきれいに手入れをするということを考えていただきたいと思っています。

この施設の建設のときに、当時の市長さんが地元と一緒に努力されたということがあったから地元としても協力したのであって、積極的に参加したわけではありません。反対の方もあったわけです。ですから、地元にとってはイメージアップが図れない施設であるのに協力してきたということを再認識していただきたいと思っているわけです。利用者数についてもデータで見ますと年間に２，０００件、そうしますと来場者は大体２５人から３０人と聞いていますので、年間に６万人の方が必ずここを通られるという実態。動物の関係も１，０００件あるということで、東部一円のかなりの方が来られるわけです。

一方、市内でもこの霊場に関わらず、ごみ処理の施設などの施設を抱えている地域があり、またこれから造ろうとしている地域もあると思います。霊場建設については他市でも１０年以上にもわたって紛糾したという実態の中で、担当者の方が変わってもこういった施設を受け入れられた地域の理解、協力というものを忘れずにきちっと引き継いでいってほしいということと、イメージアップにつながらない施設の設置に関しては、常にイメージアップを図っていただきたい。イメージが悪くなるようなことはできるだけなくすように考えてほしい。ですから道路等の周辺整備に配慮していただくことは、地元の理解・協力に対する最低限の対応ではないかと考えています。霊場の建設に関しては、地域には金銭的なものはほとんどいただいていません。また今こういう要望をしても、地域にお金が落ちるわけではありません。予算上のこともあると思いますが、鳥取市全域の福祉の向上につながるという面からも、これらのことを忘れないでいただきたいということで、それに対して一言コメントをいただければありがたいなと思っています。

（深澤市長）

私も全くそういった気持ちでいまして、地元の皆様にいろんな施設、事業を受け入れていただいておりますのは皆様の深いご理解、ご協力があってこそであります。これを我々はいつまでも忘れてはならないと改めて思っているところです。因幡霊場、そして不燃物の処理施設、可燃物の処理施設など、こういった施設で一番お世話になりますのは何といいましても地元の皆様でありまして、地元の皆様のご理解なくしてはそういった事業はあり得ないと思っています。イメージアップというお話もいただきましたが、周辺整備等々含めてこの施設、大変お世話になっているということをまず念頭に置いて、またそのあたりも考えさせていただきたいと思っています。

（都市整備部長）

因幡霊場前の道路は市道ですので、私ども鳥取市が管理しています。市道の道路除草については、全市的に年１回程度しかできてない状況ですが、この因幡霊場に通じる道というのはたくさんの方が通られるということで、鳥取市としましても１回ではなくて２回するようにしています。具体的にはお盆までと、それから彼岸に間に合うようにさせていただいています。これ以外にも道路パトロールを強化して適宜自発的に除雪、除草に努めたいと思いますし、もし私どもに見落としがあれば皆様からもこの部分に草がかかってよくないというご指摘を、公民館や担当の道路課などにいただければ対応したいと思います。

（地元意見）

私は学校関係者ではありませんが、スクールガードに関わっている関係で学校のことも多少気になっています。倉田小学校の草刈りを行政側で年に１回ぐらいやっていただけたらいいなということです。学校の先生がやれ、ＰＴＡがやれ、地元でしろということになるだろうと思いますが、学校も校長先生や教頭先生を始め、汗だくで何回もやっておられます。ＰＴＡも年に数回はなさるだろうと思います。先だって草刈りボランティアを公民館主導で結成されて私も参加しましたが、地域でも年に３回ぐらいやろうという話にはなっています。倉田小学校は非常に環境がよくて緑豊かです。裏腹に草深いのです。しかも、草が生える場所が広範囲にわたっています。草刈りをするのは能率が悪いのです。行政としたらあまねく公平にということがあるかもしれませんが、一定の面積以上は対応するといった基準づくりというのをしたり、図面で見てどのあたりがどうということを学校と相談してするという方法もあろうかと思いますので、ご検討をいただきたいと思います。

我々も一生懸命やりますが、年に１回ぐらいはやってほしいなと思います。

（教育委員会事務局長）

市内には小・中学校全校合わせまして６１校あります。そして、学校によって敷地が広いとかすぐ裏山があるとか、いろいろな状況があります。草刈りは、地域の方のお力添えやＰＴＡのご協力をいただきながら実施し、学校の教職員も当然やっているのが実情です。教育委員会としては刈り取ったものが処分できないという場合は当然お手伝いをさせてもらっていますし、また大きな木の場合や、枝がたくさん張っている場合などプロでないといけないような部分については、学校のほうから報告を受けて随時対応させていただいています。年に１回という熱いお気持ちはよく分かりますが、地域で学校を育てていただく

という気持ちも大切にしていただきながらお願いをしたいと思っています。

（地元意見）

ＬＥＤに交換すると街灯代が普通の街灯と比べて半額程度になると聞きました。うちの村の例ですが、約４５基あって年間に電気代が２３万円から２４万円、１度の修理費が２万円ぐらいかかります。これが半額になれば約１３万円程度村のお金が浮きます。ですから、ＬＥＤの数とか業者の段取りとかいろいろあるかも分かりませんが、できたら年３基までの限定と言わずに、もっと数多く交換できないものかなと思います。

（都市整備部長）

鳥取市では以前は蛍光灯の防犯灯でしたが、現在の新設防犯灯は全てＬＥＤになっています。防犯灯の申し込みは市内でたくさんありまして、その関係で各地域の要望に少しでも応えるようにということで数を割り当てて３基という数になっています。当然集落の戸数が多いところは４基とか５基という状況もありますが、基本的には要望があった所は全市同じような設置を考えているところです。また今までは鳥取市が全部お金を出して防犯灯を設置し地域で維持をしていただくという整備方法でしたが、最近は取り替え事業というのがありまして、地元で一部負担をしていただいたら、現在蛍光灯で問題なく使えている街灯についてもＬＥＤに替えられるという事業も始めたところですので、道路課のホームページで確認していただくか、道路課にご相談いただいてご検討いただけたら、少しでも早く電気代が安くなるかと思います。

（地元意見）

市長さんが市政のテーマに掲げておられる、いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなるということに直接関わる話ですが、倉田地区は人権問題、同和問題を抱えている地域です。住民の意識はかなり上がってきたなと考えていますが、まだまだ残っている状況だと思っています。市ではいろいろ施策をやっていただいていることも承知しています。新体制になって､解決へ向けての施策については市の姿勢が大きく影響すると考えています。お金をかけなくてもやれることはたくさんあると思いますので、この辺のことについて改めて一言お願いできたらと思います。

（深澤市長）

ご承知のように、鳥取市としても従来からこの人権問題、同和問題にはしっかりと取り組んできているといった経緯もあります。人権尊重都市宣言もしていますし、人権施策基本方針を策定していろんな取り組みを進めてきているところです。しかしながら、残念なことにまだ十分でないところもありますし、インターネット等でのいろんな新しい形での差別事象等も発生しているといった現実もあります。そういった現実を私はいま一度しっかりと見据えて、従来から取り組んでいる延長上でこれからもしっかりと取り組んでいきたいといった思いでいます。みんなで英知を結集して、いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、そういった町をつくり上げていきたいという考え方は従来から変わっていません。これからも皆様と一緒になって取り組んでいきたいと思っていますので、よろし

くお願いします。

７　市長あいさつ

今日は本当にお忙しい中、長時間にわたりましてこの地域づくり懇談会にご参加をいただき、また活発なご意見をいただきまして本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。今日は２つのテーマを上げていただきました。また、冒頭、館長さんよりいろんな課題、多岐にわたる課題についてもお話をいただきました。また、フリートークの中でもいろんな課題についてご提言をいただきました。ご意見もいただきました。すぐにはなかなか解決できない問題もありますし、国や県に要望していかなければならない課題もあったかと思います。今日伺いましたいろんなご意見等はしっかり受けとめさせていただき、鳥取市として精いっぱい課題解決に向けて取り組んでいきたいと思っています。

平成１６年に合併して、今年の１１月がちょうど１０年という節目の年になります。鳥取駅の南側に施策がないのではないかと、都市計画に関連したご意見もいただきました。まさにこれから鳥取市は将来に向けて大きく発展をしていかなければならない時期にあろうかと思っています。

この鳥取市南部地域もこれから将来に向けて発展をしていかれる、そういった地域であると私は思っています。これからも協働のまちづくりということで地域の皆様と一緒になって新しい鳥取市を築いていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いを申し上げまして、終わりにあたりましてのお礼のご挨拶にかえさせていただきます。今日は本当にありがとうございました。